

< 学習会のお知らせ >

## 東アジアの歴史とその和解を考える

" 憲法 - 日本人と植民地出身者の視点から - "



お話：内海愛子さん

(恵泉女学園大学名誉教授)

日時：2018年6月10日(日) 15:30～17:30

会場：岐部ホール 307号室 (聖イグナチオ教会隣)

四ツ谷駅下車・麴町口1分 (JR線、丸の内線、南北線)

“板門店宣言”によって、朝鮮半島の戦争終結・非核化・南北和解が呼びかけられ、新しい局面が開かれようとしています。しかし、同盟国の思惑も複雑で、東北アジアはまだ不安定な状況から脱することができないでいます。

半島が分断された歴史を顧みると、日本の富国強兵・植民地政策の結果であったと言えます。こうした歴史を直視した上で、東アジアの和解・平和についての日本の責任について、ご一緒に考えていきたいと思えます。

今回は、憲法を焦点に、歴史社会学者の内海愛子さんに戦後史をひも解いていただきます。

申し込み不要、参加費無料

主催：平和といのち・イグナチオ9条の会

( 問い合わせ：090-3563-7876 くじゅう )